

■タイトル

「百世の安堵」～津波と復興の記憶が生きる広川の防災遺産～



広村堤防が築かれた広川の海岸



濱口家住宅の築城様

■所在自治体 広川町

■ストーリーの概要

広川町の海岸は、松が屏風のように立ち並び、見上げる程の土盛りの堤防が海との緩衝地を形づくり、沖の突堤、海沿いの石堤と多重防壁システムを構築しています。

堤防に添う町並みは、豪壮な木造三階建の楼閣がそびえ、重厚な瓦屋根、漆喰や船板の外壁が印象的な町家が、高台に延びる通りや小路に面して軒を連ね、避難を意識した町が築かれています。

江戸時代、津波に襲われた人々は、復興を果たし、この町に日本の防災文化の縮図を浮かべました。防災遺産は、世代から世代へと災害の記憶を伝え、今も暮らしの中に息づいています。

■主な構成文化財

- 【国】 広村堤防
- 【国】 濱口家住宅
- 【国】 広八幡神社
- ◆ 津浪祭

■問い合わせ先

広川町教育委員会企画政策課  
和歌山県有田郡広川町大字広1500番地  
TEL: (0737) 23-7731 FAX: (0737) 62-2407  
E-mail: kikaku4@town.hirogawa.wakayama.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む